



# マナビっつうしん

平成31年2月22日(金)

コミュニティスクール  
Q&A

Q5

運営委員会(学校運営協議会)の充実って、具体的にどうすればいいの？

## 1 学校と地域それぞれの「思い」や「願う子どもの姿」を共有しましょう

複雑化・多様化した課題を抱えている**学校**  
子どもたちに将来を生き抜く力を付けたい**学校**

自分たちの地域の維持発展を願っている**地域**  
どんな大人に育てるのが願っている**地域**

### 「思い」や「願う子どもの姿」、「情報」の共有

- ・各地区に持ち帰って、地区の各種組織で情報を共有し対応策を検討する
- ・グランドデザインをしっかりと共有し、地域を挙げて子育ての取組を進める

まず、一つの  
テーブルに  
つくことから

## 2 運営委員会(学校運営協議会)やより大勢の当事者で「熟議」を行いましょう

熟議とは、多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことで、活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができます。

「思い」や「願う子どもの姿」、「情報」の共有に向けて、また課題や今後の方向を見出すために、多くの当事者(保護者、教職員、地域の方々)が集まり、熟議を行いましょう。そうすると、互いの立場や果たすべき役割への理解が深まります。地域や学校の実態に応じて、運営委員会(学校運営協議会)や大勢の当事者が集まった場で自分事として熟議を積み重ねていくことで、学校・保護者・地域それぞれの役割に応じた解決策や方策が集約され、それぞれが納得して自分の役割を果たすようになります。

### 【熟議の例】<テーマ>「児童生徒の登下校の安全対策について」

#### 【地域住民】

- ・子どもを守る安心の家に登録している。
- ・登下校時に散歩して、子どもと顔見知りになっている。
- ・危険個所を地域みんなで共有したいな。



#### 【学校・教師】

- ・通学路の安全点検をしている。
- ・集団下校を行ったり、子どもと一緒に下校したりしている。

#### 【保護者】

- ・交差点まで送って、渡る様子を見守っている。
  - ・帰宅時刻を確認している。
  - ・危険個所を子どもに話している。
- でも、全部の危険個所を把握しているか心配。

#### 【すぐに行える取組から協働活動につなげていきましょう】

- 学校で把握している危険個所を地域の皆さんと共有しよう
  - 地区内のいろいろな立場の皆さんにも危険個所を知ってもらおう
- 通学路の危険マップを子どもたちと地域の方々で情報交換をしながら一緒に作ろう**